

## 森林インストラクターの森活動報告

期日:2021年6月13日(日) 天候:曇り時々晴れ

作業内容:シカ対策ネットの手入れと除伐

参加者:9名(池田、横山、桂、星野、辰尾、近江、森永、田崎、本田)

報告者:本田

梅雨入り間近の蒸し暑い中、ときがわにて森づくり作業を行ないました。

今の時期、花を咲かせている植物は比較的少ないですが、木々の緑の中で目立っていたのは、クリ、マタタビ、ナツツバキ、ヤマボウシ、ウリノキ、ドクダミ等、白色の花でした。



横山さんから作業内容の説明後、9名が「シカ対策ネットの手入れ」「除伐」の2班に分かれて作業をスタートしました。

「ネットの手入れ」班は、ネット内の植栽樹木の生育確認とツル植物の除去、ネットの補修、「除伐」班は、南東側斜面の上部にある常緑広葉樹(タブノキ、他)を伐採しました。今回伐採したタブノキの中で最大のものは、樹齢15年、樹高15m、幹周75cmと見事に育っていた高木でした。切るのが可哀そうでしたが、思い切ってノコギリを入れました。伐採後、暗かった斜面には一気に日が差し、新たな樹木を植栽すべく明るい斜面が生まれました。

この大タブノキを倒す方向は、一般的には推奨されない、180°下方向(谷側)がベストと判断しました。横山さんのアドバイスにより、樹木の重心を考慮し、「つる」の幅を左右異なる幅で追切りし、これにより倒す方向をコントロールする事が出来ました。これは実際に経験しないと分かりにくい事ですが大変勉強になりました。

伐採したタブノキの幹切断、枝切り、片付けは次回の作業日に持ち越しとして、メインイベントを終了しました。



作業後、気になる植物を各自採取し、ウッドデッキで同定を行ないました。

マタタビ、シラキ、ヤブムラサキ、マルバウツギ、クマノミズキ、オニドコロ、ヤマボウシ、ナツツバキ、キツネアザミ等を確認しました。

星野さんのお話によると、インストラクターの森にてクマノミズキが確認されたのは、2009年に同定作業の記録を開始以来、初めてとの事です。

次回の作業日は約2ヶ月先の8月8日になりますが、皆様がコロナのワクチン接種を完了している頃ですので、ウッドデッキで焼肉パーティが出来るかもしれません。

